

○事業概況

令和6年度の水運用については、滝畑ダムの濁水や台風等の影響もなく、年間を通して順調に運用することができました。また、水需要については、人口減少等により大幅な減少傾向にあることから、依然として厳しい経営環境が続いています。

令和6年度の上水道ビジョンに基づく主な施策としては、「安全」の取り組みとして、水質管理の強化への対応として、日野浄水場薬品注入設備更新実施設計業務を実施しました。「強靱」の取り組みとして、日野浄水場管理本館外壁等改修工事実施設計業務や重要給水施設などへの水道管路の更新工事を実施しました。4ヶ年の継続事業として河内長野市水道中央監視設備更新工事にも着手しました。また、水運用の効率化を図るため、三日月第1配水池電動弁設置工事を実施しました。「持続」の取り組みとして、上下水道ビジョンの中間見直しの検証結果を踏まえ、人口減少に伴う水需要および収益の減少に対応するため、水道事業の経営基盤の強化について、水道料金改定の具体的な検討を行いました。

○業務量

事 項	単 位	令和6年度	令和5年度	比 較		
				増 減	対前年度比 (%)	
行政区域内人口	人	97,359	98,786	△1,427	98.6	
年度末給水人口	人	97,352	98,779	△1,427	98.6	
普 及 率	%	99.99	99.99	0.00	100.0	
年度末給水戸数	戸	47,563	47,566	△3	100.0	
配水量	年間	m ³	10,162,908	10,513,238	△350,330	96.7
	1カ月平均	m ³	846,909	876,103	△29,194	96.7
	1日平均	m ³	27,844	28,724	△880	96.9
有収水量	年間	m ³	9,651,097	9,746,608	△95,511	99.0
	1カ月平均	m ³	804,258	812,217	△7,959	99.0
	1日平均	m ³	26,441	26,630	△189	99.3
1日最大配水量	m ³	31,736	34,081	△2,345	93.1	
有 収 率	%	94.96	92.71	2.25	102.4	

○令和6年度決算

【 収益的収支関係 】

(単位 : 円 税抜)

	令和6年度決算	令和5年度決算	増 減	主な増減内容
水道事業収益	2,177,198,445	2,226,131,320	△ 48,932,875	
営業収益	1,599,643,556	1,610,066,875	△ 10,423,319	給水収益の減 (△11,979,127)
営業外収益	577,554,889	616,064,445	△ 38,509,556	一般会計繰入金の減 (△4,715,745) 長期前受金戻入の減 (△39,164,630)
水道事業費用	2,133,459,535	2,208,630,883	△ 75,171,348	
営業費用	2,069,355,912	2,142,055,816	△ 72,699,904	原水浄水費の減 (△48,964,727) 配水費及び給水費の減 (△20,222,845) 総係費の減 (△13,665,392) 減価償却費の増 (19,729,154) 資産減耗費の減 (△21,086,767)
営業外費用	64,103,623	66,519,303	△ 2,415,680	支払利息の減 (△2,123,758)
特別損失	0	55,764	△ 55,764	
差 引	43,738,910	17,500,437	26,238,473	

【 資本的収支関係 】

(単位 : 円 税込)

	令和6年度決算	令和5年度決算	増 減	主な増減内容
資本的収入	435,838,972	745,312,487	△ 309,473,515	
企業債	250,000,000	450,000,000	△ 200,000,000	水道事業債の減 (△200,000,000)
他会計負担金	13,703,063	4,799,608	8,903,455	消火栓負担金の増 (8,903,455)
工事負担金	98,078,700	154,232,600	△ 56,153,900	二市共同施設に係る工事負担金の減 (△104,110,700)
国庫補助金	0	12,353,000	△ 12,353,000	テシ田交付金の減 (△12,353,000)
一般会計繰入金	23,908,000	73,421,282	△ 49,513,282	上水道安全対策事業繰入金の減 (△37,688,950)
長期貸付金返還金	50,000,000	50,000,000	0	
その他	149,209	505,997	△ 356,788	固定資産売却代金の減 (△378,000)
資本的支出	1,121,161,315	1,705,125,263	△ 583,963,948	
建設改良費	775,938,836	1,207,587,248	△ 431,648,412	配水施設等改良工事請負費の減 (△405,246,800)
企業債償還金	345,073,270	347,410,018	△ 2,336,748	
投資	149,209	150,127,997	△ 149,978,788	下水道長期貸付金の減 (△150,000,000)
差 引	△ 685,322,343	△ 959,812,776	274,490,433	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 685,322,343円は、当年度分消費税資本的収支調整額 55,151,714円、過年度分損益勘定留保資金 559,896,109円 及び現年度分損益勘定留保資金 70,274,520円で補てんした。

○職員数について

(単位 : 人)

	令和6年度決算	令和5年度決算	増減	備考
事務職員	12	12	0	再任用短時間・会計年度任用 (パートタイム) 職員含まず
技術職員	11	11	0	
合 計	23	23	0	

○基金の状況について

(単位 : 円)

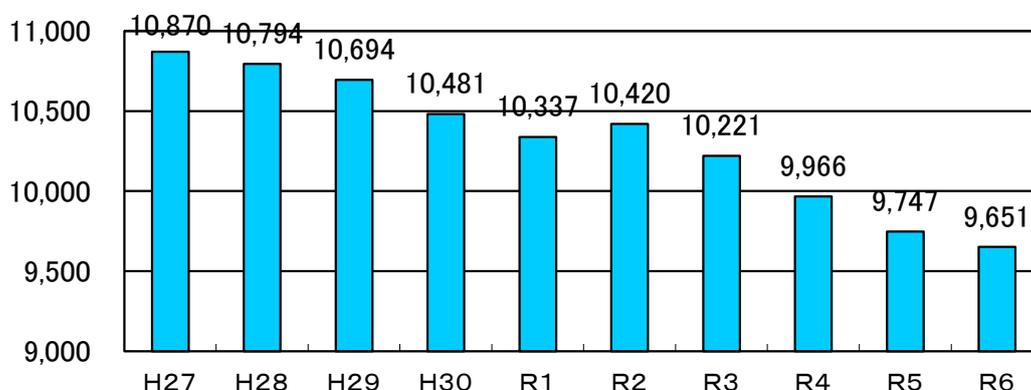
	令和5年度末残高	積立額	使用額	令和6年度末残高
水道事業基金	177,585,545	149,209	0	177,734,754

○企業債の状況について

(単位 : 円)

	令和5年度末残高	借入額	償還額	令和6年度末残高
企業債	4,147,639,548	250,000,000	345,073,270	4,052,566,278

○年度別有収水量 (千m³)



令和6年度 下水道事業会計決算

資料3-2

○事業概況

令和6年度の下水道使用料収入は、供用開始済の地域での水洗化を実施したものの、人口減少に伴う水需要の減少などにより、前年度と比較して減少しました。一方、費用についても、減価償却費の減少などにより、前年度と比較して減少しました。

令和6年度の上下水道ビジョンに基づく主な施策としては、「快適な生活環境」の取り組みとして、公共下水道整備事業及び浄化槽整備事業を実施しました。

「安全・安心」の取り組みとして、住宅団地の老朽化した下水道管路施設や中継ポンプの設備更新について、ストックマネジメント計画に基づき長寿命化対策工事を実施しました。また、災害時における避難所の生活衛生を確保するため、南花台中学校でマンホールトイレの整備を行いました。

「安定・経営基盤の強化」の取り組みとして、上下水道ビジョンの中間見直しの検証結果を踏まえ、人口減少に伴う水需要および収益の減少に対応するため、下水道事業の経営基盤の強化について、下水道使用料改定の具体的な検討を行いました。

○業務量

事 項	単 位	令和6年度	令和5年度	比 較		
				増 減	対前年度比 (%)	
行政区域内人口	人	97,359	98,786	△1,427	98.6	
年度末整備人口	人	92,800	93,905	△1,105	98.8	
普 及 率	%	95.32	95.06	0.26	100.3	
処理区域内人口	人	92,591	93,775	△1,184	98.7	
水洗化人口	人	88,996	89,942	△946	98.9	
水洗化率	%	96.12	95.91	0.21	100.2	
水洗化世帯	世帯	43,361	43,212	149	100.3	
浄化槽整備人口	人	676	678	△2	99.7	
有 収 水 量	年間	m ³	8,826,660	8,867,246	△40,586	99.5
	1カ月平均	m ³	735,555	738,937	△3,382	99.5
	1日平均	m ³	24,182	24,227	△45	99.8
年間下水道管布設延長	m	1,468	1,057	411	138.9	

○令和6年度決算

【 収益的収支関係 】

(単位:円 税抜)

	令和6年度決算	令和5年度決算	増 減	主な増減内容
下水道事業収益	2,945,387,516	3,031,374,638	△ 85,987,122	
営業収益	1,427,203,418	1,441,871,678	△ 14,668,260	下水道使用料の減 (△3,265,878)
営業外収益	1,509,411,802	1,566,939,153	△ 57,527,351	長期前受金戻入の減 (△54,190,526)
特別利益	8,772,296	22,563,807	△ 13,791,511	一般会計繰入金の減 (△3,871,149)
				その他特別利益の減 (△13,791,511)
下水道事業費用	2,883,724,160	2,932,037,355	△ 48,313,195	
営業費用	2,627,773,558	2,652,492,215	△ 24,718,657	減価償却費の減 (△42,781,735)
営業外費用	255,950,602	279,545,140	△ 23,594,538	流域下水道維持管理負担金の増 (21,366,982)
特別損失	0	0	0	支払利息の減 (△22,426,991)
差 引	61,663,356	99,337,283	△ 37,673,927	

【 資本的収支関係 】

(単位:円 税込)

	令和6年度決算	令和5年度決算	増 減	主な増減内容
資本的収入	1,713,775,694	1,310,669,066	403,106,628	
企業債	1,025,523,000	679,700,000	345,823,000	資本費平準化債の増 (232,823,000)
他会計出資金	535,940,114	334,522,196	201,417,918	一般会計からの出資金の増 (201,417,918)
他会計借入金	0	150,000,000	△ 150,000,000	水道事業からの長期借入金の減 (△150,000,000)
国庫補助金	132,863,000	112,314,000	20,549,000	社会資本整備総合交付金の増 (20,000,000)
府補助金	162,000	292,000	△ 130,000	
負担金及び分担金	19,287,580	33,840,870	△ 14,553,290	受益者負担金の減 (△8,809,190)
資本的支出	2,726,727,904	2,393,319,350	333,408,554	
建設改良費	661,642,767	561,391,625	100,251,142	委託料の減 (△25,987,040) 流域下水道建設費負担金の減 (△14,127,575) 補償費の増 (47,956,800) 工事請負費の増 (94,740,547)
固定資産購入費	1,683,000	563,469	1,119,531	管内検査用カメラ購入費の増 (1,300,000)
企業債償還金	2,013,402,137	1,781,364,256	232,037,881	資本費平準化債元金償還金の増 (312,232,486)
他会計借入金償還金	50,000,000	50,000,000		
差 引	△ 1,012,952,210	△ 1,082,650,284	69,698,074	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,012,952,210円は、繰越工事資金1,314,000円、当年度分消費税資本的収支調整額38,519,232円、減債積立金89,986,301円及び損益勘定留保資金883,132,677円で補てんした。

○職員数について

(単位:人)

	令和6年度決算	令和5年度決算	増減	備考
事務職員	9	8	1	再任用短時間・会計年度任用 (パートタイム) 職員含まず
技術職員	8	9	△ 1	
計	17	17	0	

○企業債の状況について

(単位:円)

	令和5年度末残高	借入額	償還額	令和6年度末残高
企業債	19,613,194,736	1,025,523,000	2,013,402,137	18,625,315,599

○年度別有収水量 (千㎡)

